

経口中絶薬「メフィーゴ[®]パック」の処置の流れ図（入院した場合）

※外来診療のみで入院しなくて良い場合があります

第1剤目投与（月・火・水曜日の午前9時の外来受診）
医師の目の前で第1剤目を内服します。

胎嚢排出あり

当院へすぐ連絡して、受診して下さい。
また、排出された胎嚢をお持ち下さい。

第2剤目投与（第1剤目内服から48時間後に入院）

午前9時に医師の目の前で、第2剤目を左右の歯茎と頬の間に2錠ずつ挟んで、唾液でゆっくりと30分間溶かします。その後、下腹痛予防として鎮痛剤アセトアミノフェン200m gを2錠内服します。

午後4時退院診察

胎嚢排出あり
許容できない子宮内遺残なし

午後5時退院
1週間後、2週間後、
4週間後に外来受診

胎嚢排出
なし

入院継続

食事は午後9時まで、飲水はミネラルウォーターに限り翌朝午前6時まで可能です。
翌朝の診察で追加の処置が必要になることがあるので、翌朝からは絶飲食になります。

翌朝午前9時（第1剤目内服から72時間後）診察

胎嚢排出あり

許容できない子宮内遺残

なし

1週間後、2週間後、
4週間後に外来受診

胎嚢排出
なし

子宮内清掃術
(自費診療4万円)

1週間後、2週間後、
4週間後に外来受診

あり
不全流産手術
(自費診療4万円)

1週間後、2週間後、
4週間後に外来受診